



平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月10日

上場取引所 東 名

上場会社名 澁谷工業株式会社

コード番号 6340 URL <http://www.shibuya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 澁谷 弘利

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 吉道 義明

TEL 076-262-1201

四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第3四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	47,815	16.8	1,127	977.0	1,179	—	279	—
23年6月期第3四半期	40,929	10.7	104	△87.7	44	△94.8	△319	—

(注) 包括利益 24年6月期第3四半期 326百万円 (—%) 23年6月期第3四半期 △328百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	10.10	—
23年6月期第3四半期	△11.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第3四半期	84,965	28,844	33.8
23年6月期	72,056	28,730	39.8

(参考) 自己資本 24年6月期第3四半期 28,732百万円 23年6月期 28,683百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年6月期	—	5.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,500	25.4	2,500	550.3	2,450	624.2	1,350	—	48.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期3Q	28,149,877 株	23年6月期	28,149,877 株
② 期末自己株式数	24年6月期3Q	478,745 株	23年6月期	478,430 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期3Q	27,671,234 株	23年6月期3Q	27,598,229 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。よって、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P2「1. 四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に景気持ち直しの動きが見られたものの、海外経済の減速や円高の長期化に加え、タイ洪水の影響も懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続きました。下期に入ってから、米国の景気回復期待感から円高、株安が若干解消されたものの、欧州債務危機や原油価格の上昇など不安定な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は478億15百万円（前年同期比16.8%増）、営業利益11億27百万円（前年同期比977.0%増）、経常利益11億79百万円（前年同期は経常利益44百万円）、四半期純利益2億79百万円（前年同期は四半期純損失3億19百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(パッケージングプラント事業)

パッケージングプラント事業では、前年同期に比べ、酒類用プラントが減少したものの、東南アジア・中国への清涼飲料向け無菌充填ラインの輸出が増加したことにより、食品用プラントが伸び、また、大手製薬メーカーへの大型プラントの納入が相次いだことにより、薬品・化粧品用プラントが大きく伸長しました。

その結果、連結売上高は300億47百万円（前年同期比13.3%増）、営業利益は27億68百万円（前年同期比43.1%増）となりました。

(メカトロシステム事業)

メカトロシステム事業では、半導体製造装置は、韓国・中国・台湾でのLED関連装置の設備投資抑制が強まり売上が伸び悩んだものの、平成24年1月に連結子会社とした(株)カイジョーの業績が寄与し、前年同期に比べて増加しました。また、医療機器および切断加工機は、ほぼ横ばいに推移しました。

その結果、連結売上高は87億67百万円（前年同期比7.4%増）、営業損失は7億19百万円（前年同期は営業損失4億48百万円）となりました。

(農業用設備事業)

農業用設備事業では、前年同期に比べ、西日本を中心に落葉果樹類および野菜・果菜類向け選果選別プラントの大型案件の納入が相次いだこと、また柑橘類向け選果選別プラントも手堅く増加したことにより、大きく伸長しました。

その結果、連結売上高は87億69百万円（前年同期比53.0%増）、営業利益は5億8百万円（前年同期比489.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比129億9百万円増の849億65百万円となりました。有利子負債については、前連結会計年度末比61億13百万円増の170億34百万円となりました。純資産については、前連結会計年度末比1億13百万円増の288億44百万円となり、自己資本比率は33.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年2月7日付で公表した連結業績予想の内容に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,527	10,471
受取手形及び売掛金	25,700	26,610
製品	222	499
仕掛品	4,537	8,537
原材料及び貯蔵品	1,247	1,794
繰延税金資産	962	1,048
その他	1,507	1,249
貸倒引当金	△1	△6
流動資産合計	40,704	50,205
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,992	11,313
機械装置及び運搬具(純額)	1,549	1,573
土地	10,704	11,514
建設仮勘定	123	165
その他(純額)	746	765
有形固定資産合計	23,118	25,332
無形固定資産		
のれん	1,226	2,407
その他	265	262
無形固定資産合計	1,492	2,669
投資その他の資産		
投資有価証券	3,358	3,538
長期貸付金	6	9
繰延税金資産	2,655	2,455
その他	757	800
貸倒引当金	△37	△47
投資その他の資産合計	6,741	6,757
固定資産合計	31,352	34,759
資産合計	72,056	84,965

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,164	19,547
1年内償還予定の社債	60	60
短期借入金	5,109	10,603
未払法人税等	310	645
未払費用	4,036	2,425
賞与引当金	282	1,085
事業構造改善引当金	17	—
受注損失引当金	96	207
製品保証引当金	6	101
その他	2,559	4,509
流動負債合計	28,645	39,186
固定負債		
社債	90	30
長期借入金	5,661	6,341
退職給付引当金	8,342	9,857
役員退職慰労引当金	379	330
繰延税金負債	—	184
その他	206	191
固定負債合計	14,680	16,935
負債合計	43,325	56,121
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,392	11,392
資本剰余金	10,358	10,358
利益剰余金	7,825	7,827
自己株式	△429	△429
株主資本合計	29,146	29,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△427	△385
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	△35	△31
その他の包括利益累計額合計	△462	△416
少数株主持分	47	111
純資産合計	28,730	28,844
負債純資産合計	72,056	84,965

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	40,929	47,815
売上原価	35,211	40,670
売上総利益	5,718	7,144
販売費及び一般管理費	5,613	6,017
営業利益	104	1,127
営業外収益		
受取利息	4	8
受取配当金	30	33
投資有価証券売却益	4	2
持分法による投資利益	3	2
固定資産賃貸料	40	51
その他	72	183
営業外収益合計	156	282
営業外費用		
支払利息	134	134
手形売却損	10	13
投資有価証券売却損	6	6
その他	64	76
営業外費用合計	216	230
経常利益	44	1,179
特別利益		
固定資産売却益	0	2
国庫補助金	522	—
貸倒引当金戻入額	3	—
特別利益合計	526	2
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産処分損	4	5
投資有価証券評価損	9	—
役員退職慰労金	26	11
減損損失	104	—
事業整理損	427	—
厚生年金基金脱退拠出金	68	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	70	—
その他	8	—
特別損失合計	720	17
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△149	1,164
法人税、住民税及び事業税	310	869
法人税等調整額	△111	15
法人税等合計	198	884
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△347	279
少数株主損失(△)	△28	△0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△319	279

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△347	279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	43
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	0	3
その他の包括利益合計	19	47
四半期包括利益	△328	326
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△299	326
少数株主に係る四半期包括利益	△28	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パッケージ ングプラント 事業	メカトロ システム 事業	農業用設 備事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,522	8,166	5,730	40,418	510	40,929	—	40,929
セグメント間の内部 売上高又は振替高	165	2	541	710	142	852	△852	—
計	26,687	8,168	6,272	41,128	653	41,782	△852	40,929
セグメント利益又は損 失(△)	1,935	△448	86	1,573	△168	1,405	△1,300	104

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、洗浄事業、環境事業および繊維事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,300百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,303百万円および棚卸資産等の調整額2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「メカトロシステム事業」において、生産部門の集約に伴い長岡工場の閉鎖を機関決定したことにより、同工場に係る減損損失94百万円を計上しております。

「その他」に含まれる繊維事業において、同事業の廃止を機関決定したことに伴い、工場に係る減損損失353百万円を事業整理損に含めて計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「パッケージングプラント事業」において、当社を完全親会社、(株)ファブリカトヤマを完全子会社とする株式交換を実施したことに伴い、のれんが143百万円増加しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パッケージ ングプラ ント事業	メカトロ システム 事業	農業用設 備事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	30,047	8,767	8,769	47,584	231	47,815	—	47,815
セグメント間の内部 売上高又は振替高	495	4	295	795	181	976	△976	—
計	30,542	8,771	9,064	48,379	412	48,792	△976	47,815
セグメント利益又は損 失(△)	2,768	△719	508	2,557	△99	2,457	△1,330	1,127

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、洗浄事業および環境事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,330百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,333百万円および棚卸資産等の調整額2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、(株)カイジョーの株式を取得し、同社およびその子会社4社を新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「メカトロシステム事業」において6,855百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「メカトロシステム事業」において、当社が(株)メカトロジャパンおよびOMJP(株)の株式を取得したことにより、のれんの額が240百万円増加しております。また、同事業において、当社が(株)カイジョーの株式を取得したことにより、のれんの額が1,138百万円増加しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。